

まちづくりの活動を一緒に考えませんか？

次世代郊外まちづくりでは、「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」の実現に向け、地域資源を活用しながら、新たな住民・企業等が参画できる取組につなげ、まちの担い手創出・仕組みづくりを目指しています。

2022年11月には、美しが丘公園において「パークフェスタ～田園都市で暮らす、働く、楽しむ～」を実施し、身近な公園の活用を通して多様な取組や活動に関わる仲間が生まれ、それらが持続できる仕組みづくりを目指した社会実験を行いました。

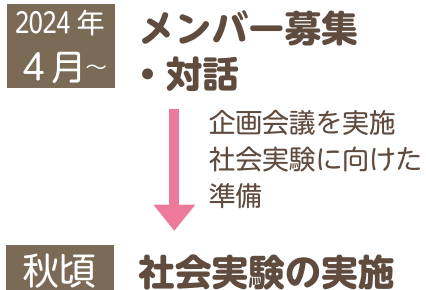
2024年は、**地域の皆さまと一緒に、たまプラーザにおける様々な公共空間を活用した取組を企画・実施したい**と考えています。



こんな想いを持っている方、ぜひお待ちしております！

- 公共空間を使ってやってみたいことやアイデアがある
- 地域とのつながりや顔の見える関係をつくりたい
- たまプラーザでなにか活動をはじめてみたい
- まちづくりに興味はあるけど、関わり方がわからない

スケジュール（予定）



まだ具体的なイメージやアイデアがない方も、すでにアイデアがあったり、活動されている方も一度、私たちとお話してみませんか？



お問い合わせのメールアドレスに、お気軽にご連絡ください。
また、本取組に関する情報・お知らせの受け取り登録ができます。
ご希望の方は、右に記載のQRコードよりご登録ください。

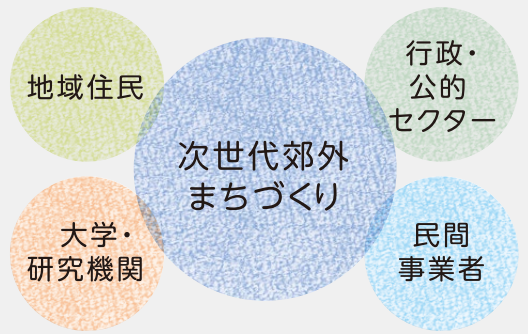
お問い合わせ（メールアドレス）：public.space.tamapla@gmail.com

お知らせの受け取り登録



次世代郊外まちづくりとは

「次世代郊外まちづくり」とは、横浜市と東急株式会社が 2012 年 4 月に締結し、2022 年 4 月に更新した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、東急田園都市線沿線の住宅地を舞台に、大都市近郊の郊外住宅地が抱えていく様々な課題に対して、地域住民・行政・大学・民間事業者の連携・協働によって解決していく、従来にない住民参加型・課題解決型プロジェクトです。



「次世代郊外まちづくり」が 目指すまちの姿

コミュニティ・リビングとは？

歩いて暮らせる範囲に、買い物、福祉、医療、子育て、コミュニティ活動など、地域に必要な機能を適切に配置し、それらを密接に結合させていく考え方で、次世代郊外まちづくりを進める上で、主要な理念として位置付けています。

コミュニティ・リビングの考え方のもと、交流拠点がまちに点在することで、新しい「つながり」が生まれ、住民や地域の企業等の交流や活動も活発になることが期待できます。

また、住民や企業の想いやスキルを地域に活かすことで、様々な方がまちに関わり、暮らしもより豊かになっていくと考えています。それらを踏まえ、次世代郊外まちづくりは、自由で豊かなライフスタイルの実現に向け、取り組みを進めていきます。



次世代郊外まちづくり

☎ 045-671-2954 [横浜市建築局住宅再生課]

<https://jisedaikogai.jp/>

